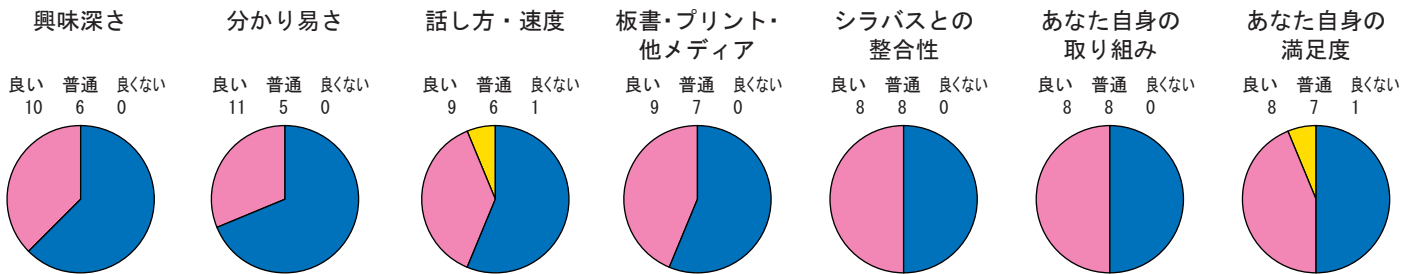


平成15年度1学期 生物学類授業評価

「生体機能分子学実験」

回答者数：16名 履修申請生物学類生数：41名 (回答率39%)



良かった点

- ・実際に自分のDNAを使った実験などがとても楽しかった。
- ・自分のDNAを扱えるのはすごく興味深かった。▪
- ・やるべきこと、何を調べるための実験なのかがはっきりしていたところ。▪
- ・説明等が丁寧で分かりやすかった。▪
- ・先端技術に少しでも触れられて、非常に意義ある実験だったと思う。

改善すべき点

- ・実験の原理などもう少し突っ込んだところまで、解説してほしかった。あともう少し学生の自主性にまかせた実験があってもいいのではないかと思います。▪
- ・学生にやらせるべき作業をほとんどそちら側で行っていて、実験をやらされている印象を受けた。もっと積極的に生徒にやらせて考えさせるべきだ。▪
- ・実験を行うには受講人数が多すぎたと思う。もう少し実験内容を増やしてもよいのではないかと思います。▪
- ・もっと頭を使いたかった。▪
- ・実験中に待ち時間が多かったため、他の作業ができたのではないかと？

担当教官のコメント

「受講生が多すぎる」、「もっと実験内容を増やしてほしい」に対して、こちらも、15年度の受講生が多いことは承知ですが、カリキュラム委員会からの要請でしたので、何ともしようがありません。これに加え、学生実験に使用できる予算が驚くほど低いのは今後分子生物学を身につけた授業を開催する危険性をはらんでいることは認識しております。